



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖  
 (コード番号 1914 東証 第 1 部)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 尾 崎 克 哉  
 (TEL 03-5365-2500)

### 特別損失(個別)の計上および第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、平成 28 年 9 月 2 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異、ならびに最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 特別損失の計上について

(関係会社貸倒引当金繰入額)

第 2 四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する債権に対し関係会社貸倒引当金繰入額 479 百万円を特別損失として計上いたしました。

また、通期の業績予想については、関係会社株式評価損 834 百万円を計上いたします。

なお、いずれも個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 2. 業績予想との差異

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり四 半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,770	百万円 △240	百万円 △350	百万円 △390	円 銭 △13.80
実績値 (B)	10,336	△452	△595	△634	△22.45
増減額 (B—A)	△434	△212	△245	△244	—
増減率 (%)	△4.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	11,271	626	710	355	12.43

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,800	百万円 90	百万円 △230	円 銭 △8.14
実績値 (B)	8,362	50	△461	△16.34
増減額 (B—A)	△438	△40	△231	—
増減率 (%)	△5.0%	△44.4%	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	10,074	794	379	13.28

#### 3. 差異理由

(第 2 四半期累計期間の個別業績予想)

個別業績につきましては、手持ち工事の進捗が当初の想定を下回ったこと等により、売上高

は前回予想を 438 百万円下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い、経常利益は 40 百万円下回り、また、特別損失に関係会社貸倒引当金繰入額 479 百万円を計上したことに伴い、四半期純利益は前回予想を 231 百万円下回りました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### (第 2 四半期累計期間の連結業績予想)

個別修正理由のほか、米国現地法人の工事採算が低下したこと等により、前回予想に比べ営業利益は 212 百万円、経常利益は 245 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 244 百万円それぞれ減少しました。

### 4. 業績予想との修正

#### 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,900	百万円 550	百万円 690	百万円 410	円 銭 14.51
今回修正予想 (B)	22,700	△200	△240	△540	△19.11
増減額 (B－A)	△1,200	△750	△930	△950	—
増減率 (%)	△5.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	24,113	1,421	1,333	951	33.42

#### 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,300	百万円 520	百万円 290	円 銭 10.26
今回修正予想 (B)	19,350	590	△510	△18.05
増減額 (B－A)	△950	70	△800	—
増減率 (%)	△4.7%	13.5%	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	20,393	1,100	851	29.92

### 5. 修正理由

#### (通期の個別業績予想)

個別業績につきましては、手持ち工事の進捗が当初の想定を下回ったことにより、売上高は前回予想を 950 百万円下回る見込みですが、工事採算が好転したことにより、経常利益が 70 百万円増加する見込みです。また、特別損失に、関係会社株式評価損 834 百万円を見込んだことに伴い、当期純利益は前回予想を 800 百万円下回る見込みです。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### (通期の連結業績予想)

個別修正理由のほか、米国現地法人の工事採算が複数の工事案件において、施工方法の変更や、想定外の地質問題に起因する工期遅延による、労務原価および機械関係原価等のコスト増により悪化し、期初平均 15.7%を見込んでいた工事利益率が、平均△30.6%の不採算となったために、連結全体としては、前回予想に比べ営業利益は 750 百万円、経常利益は 930 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 950 百万円それぞれ減少する見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上